

平成30年3月23日(金) 11:55～
大田スタジアム

2018年度東京都企業春季大会
順位決定戦

VS

セガサミー

先発の大久保は3回まで毎回ヒットを許すが無失点で立ち上がると4回から6回まで一人の走者も許さない完璧な投球を見せる。7回に2死から連続四球でピンチを迎えるも後続を抑え7回を無失点の好投でマウンドを降りる。

8回からは2番手・玉熊が登板、1回を三者凡退に抑え、9回からは3番手・三宮に継投する。三宮は四球やヒットで毎回走者を出すが要所を締め先制を許さず3回無失点の好投。

12回からは4番手・古田が登板する。14回までの3回を無失点に抑え4イニング目に入った15回、1死1塁となったところで5番手として北濱が登板する。代わった北濱は15回を内野ゴロと外野フライに打ち取って無失点で守り抜く。16回からは無死1、2塁から攻撃が始まるタイブレーク制となり、北濱は16回を1失点のみに抑え逆転を待つ。

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	計
セガサミー	安打	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	9
	得点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
明治安田生命	安打	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4
	得点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

早く先制したい打線は4回、先頭の3番・宮川が左中間へ2塁打を打ち無死2塁の絶好のチャンスを迎える。しかし後続3人が全て内野ゴロに倒れ先制できない。6回にも1番・吉田のヒットと4番・大野の四球で2死1、2塁のチャンスを作るがここでもあと一本が出ず無得点に終わる。

9回の攻撃はあっさり三者凡退で終わり延長戦に突入する。延長に入っても四球の走者を出すものの後が続かず、投手の踏ん張りに野手陣は全く応えることができないま回は進んでいく。

延長15回、2死から9番・新城がヒットで出塁、盗塁とエラーで2死3塁と一打サヨナラのチャンスを作るがここでも得点できない。タイブレーク制となった16回、3番・宮川のバントヒットで無死満塁と絶好で逆転サヨナラの絶好のチャンスを作るがここで4番・大野、5番・竹内、代打・泉澤が三者連続三振に終わり試合終了。見せ場なく0-1で敗れた。

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打				打点	盗塁	犠打	四死	打率	
						計	単	二塁	三塁						本塁
1	6	吉田	総合法人第五部	7	3	1	1						4	0.333	
2	5	木田	所沢支社	7	3	0						3	1	0.000	
3	8	宮川	上野支社	7	5	2	1	1				1	1	0.400	
4	3	大野	池袋支社	7	5	0							2	0.000	
5	7	竹内	町田支社	7	7	0								0.000	
6	DH	森	新入職員	6	6	0								0.000	
	H	泉澤	武蔵野支社	1	1	0								0.000	
7	9	井村	東京マーケット開発部	6	6	0								0.000	
8	2	尾嶋	広域組織法人部	4	2	0							2	0.000	
	R	手銭	総合法人第三部	0	0	0								#DIV/0!	
9	2	道端	丸の内支社	2	2	0								0.000	
	4	新城	新宿支社	6	6	1	1				1			0.167	
計				60	46	4	3	1	0	0	0	1	4	10	0.087

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	大久保	立川支社		7	25	100	3	5	2	0	0	0.00
2番手	玉熊	千代田支社		1	3	15	0	1	0	0	0	0.00
3番手	三宮	横浜支社		3	12	56	2	2	1	0	0	0.00
4番手	古田	立川支社		3 1/3	12	45	3	2	0	0	0	0.00
5番手	北濱	新入職員	×	1 2/3	6	24	1	0	0	1	0	0.00
計				16	58	•	9	10	3	1	0	0.00